

**議題3** 登下校時の見守り活動の実施について ※登場人物は、議題1 (P2) と同じです。

**小林(副)** 3つ目の議題は『登下校時の見守り活動の実施について』です。これは、高橋委員さんからのご提案です。では、高橋委員さん、ご説明をお願いします。

**高橋委員** はい、皆さんもご存じのとおり、先日ひだまり町立小学校の児童が、不審人物に追いかけるという事件がありましたね。幸い近くを通りかかった大人が気づいてくれて、事なきを得ましたが、その不審人物はまだ見つかっていません。

全国的にもこういった未成年者に対する事件が起こっている昨今です。

そこで、私たち民児協も、小学校の登下校時の見守り活動を、率先的に行ったほうが良いのではないかと思います、ご提案いたしました。

**小林(副)** 確かに、こういった活動は、ある意味、われわれ民児協が、学校と連携しながら率先して活動を進めていくことが大切なのかもしれませんね。

でも、一方では、地域の中にどれだけ心強い支援者を増やしていくことができるか、しっかり考えないといけませんね。

**高橋委員** そうなんです。継続していくということが何より大切です、限られた人数の中で、毎日見守るというのも大変ですからね。

**鈴木会長** 皆さんのおっしゃるとおりです。ここは、その点をじっくり考えてみましょう。

**議題3**

地域住民の安全・安心を考えるうえで、皆さんはどのような見守り活動を実践していますか？ ①では、委員各自で実践している見守り活動（対象者・方法・頻度等）について、皆さんで話し合ってみましょう。

また、②ではエコマップを使って、現在つながりがある方や今後つながりを持ちたい方について話し合ってみましょう。

**1** どのように実践していますか？（高齢者・児童問わず）

**事例検討**

～参考手順～

毎号、ひだまりに掲載している「60分のできる実践活動検討」を行う際の参考手順です（創刊時に掲載したものを一部再編）。地区民児協で事例検討など、委員同士の意見交換を行う際は、これを参考に皆さんがやりやすい方法で行ってください。

手順1

**進行役を決める**

誰を選ぶか、どのように選ぶかは自由です。毎回、進行役を代えてみましょう。

手順2

**全体の説明と班分け**

進行役は、どのような流れ（時間配分も）で行うのか全員に説明します。説明後、下記①～④を留意の上、班分けをします。

- ① 班分けは、1班3～6人を目安にする
- ② 班同士は、できるだけ離れて着座する
- ③ 班の構成は、役員・中堅・新任委員が偏らないように、バランスをとる
- ④ 毎回、班のメンバーを代える

手順3

**各班で検討する**

班別に、下記①～③の順で検討します。

- ① 班内の進行役や発表者を決める
- ② 事例を読みこむ
- ③ 設問について話し合う。この時、お互いの担当地区での体験談も話し合う

手順4

**検討結果を発表する**

全体で、各班の検討した結果を発表しましょう。

時間配分の目安

(手順1・2) 10分、(手順3・4) 40～50分

※時間配分は、目安です。臨機応変に設定しましょう。

**検討の心得**

効果的な話し合いをするうえで、下記の点にご留意ください。また、事例検討には“正解”はありません。委員一人ひとりの経験をもとに、前向きに話し合ってみてください。

- **自由奔放** 意見には制約を設けず、自由に発言してください
- **多数歓迎** 意見やアイデアは多いほど歓迎です
- **便乗発展** 他の方の意見に便乗し、話を発展させます
- **批判厳禁** 他の方の意見を批判せず、前向きに話し合います
- **視点多用** 要支援者だけではなく、様々な登場人物の立場で事例を検討します